2020 福缶

日本の縁起物

下川原焼土人形 タイ持ち

青森県 弘前市
下川原焼は日用雑器をつくる津軽藩の御用窯でした。当時の藩主が津軽の地に玩具が少ないことを憂い、冬期の閑暇を利用して土人形をつくることを命じました。以来約200年間、鳩笛や干支笛などさまざまな人形がつくられており、津軽を代表する縁起物として人々から親しまれています。
阿保 正志
〒036-8083 青森県弘前市新里字上樋田 85-2 TEL 0172-27-3766

六原張子 起き上がり小法師 多幸チュー

岩手県 胆沢郡
張子は通常木型などの外側に和紙を貼って作成しますが、六原張子は凹型の型に成島（なるしま）和紙を丹念に張り付ける「内張り」という技法が用いられます。起き上がり小法師人形は、震災の苦しみから立ち上がれるように、との願いを込めてつくられています。
コシェルドゥ
〒023-0403 岩手県奥州市胆沢若柳字土橋 287-1 TEL 0197-47-3751

和紙張子の十二支 子

岩手県 花巻市
宮沢賢治の生誕地としても知られる岩手県花巻市。豊かな文化を育み、古くからの伝統が息づくこの地では郷土玩具も数多くつくり続けられています。節句や年中行事に合わせ、人々は様々な願いを込めて人形を飾ってきました。新年を迎える準備として、その年の守り神である干支の人形を飾ることで一年間家を守ってくれるといわれています。
小田島民芸所
〒025-0098 岩手県花巻市材木町 10-20 TEL 0198-23-4856

中山人形 鰰

秋田県 横手市
秋田の名産でもある鰰（ハタハタ）がモチーフの土鈴です。中山人形は明治初期から横手市でつくられており、色の鮮やかさが特徴です。かつて露店で販売をしていた時に、雪の中でも目に留まりやすくするために鮮やかな色が使われるようになったと言われています。
樋渡人形店
〒013-0036 秋田県横手市駅前町 5-67 TEL 0182-32-1560

八橋人形 子

秋田県 秋田市
八橋人形は秋田市の八橋地区で江戸時代から約200年作られてきた土人形です。近年廃絶の危機に立たされましたが、これを惜しむ市民有志の活動により「八橋人形伝承の会」が発足しました。粘土を型抜きして焼き、重厚な土の感触と色合いが特徴の干支の土人形です。
八橋人形伝承の会
〒010-0851 秋田市手形字大沢 369-6 TEL 090-5184-7364

北浦土人形 お稲荷さん

秋田県 仙北市
北浦土人形は秋田県にある田沢湖近くの工房で作られています。稲荷神は五穀豊穣、商売繁盛、家内安全などの神として信仰されていますが、かつて佐竹藩があった秋田県では、藩主の佐竹義宣が久保田城を建てる際に子分にしたキツネの霊を祀ったのが与次郎稲荷神社のルーツとも言われ、与次郎狐の伝説としても広く知られています。
工房 北の仲間たち
〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字造道 27 TEL 0187-43-1540

笹野一刀彫 お鷹ぽっぽ

山形県 米沢市
米沢市笹野地区に古くから伝わる笹野一刀彫。材料となるコシアブラをサルキリという刃物で掘り上げます。雪深い米沢では、農家の副業として今日までの長い間彫り伝えられてきました。お鷹ぽっぽはその伝統の中でも最も代表的な彫り物になります。
元祖笹野一刀彫 株式会社鷹山
〒992-1445 山形県米沢市笹野本町 5742-1 TEL 0228-38-3200

山形張子 だるま

山形県 山形市
山形張子は和紙や胡粉、ふのり、粘土などを材料にし、一つ一つ手作りで作られる温かみのある作品です。
岩城人形店
〒990-0044 山形県山形市木の実町 11-10 TEL 023-622-6346

堤人形 鯛引き寄せ猫

宮城県 仙台市
堤人形は伊達政宗公の時代に藩内の産業発展のため始まりました。現在でも当時の型を使ってつくられており、千数百個にのぼる土型の一部は、仙台市の有形文化財に指定されています。鯛引き寄せ猫は、福を引き寄せるという思いを込めて飾る縁起物です。
つつみのおひなっこや
〒981-0912 宮城県仙台市青葉区堤町 2-10-3431 TEL 022-233-6409

仙台張子 子

宮城県 仙台市
仙台では毎年、和紙の柔らかい表情を活かしたかわいらしい首振りの干支人形がつくられ親しまれています。十二支は古代中国で時を表す単位として用いられており、文字の読めない庶民にも理解できるよう動物の名をあてはめたといわれ、現代にも息づく信仰の対象となっています。
高橋はしめ工房
〒980-0001 宮城県仙台市青葉区中江 2-8-5 TEL 022-222-8606

弥治郎こけし 旭菊

福島県 いわき市
こけしは昔、木地師が子どもに与えた玩具が発祥で、次第に湯治場のお土産ものとして東北地方で盛んにつくられるようになりました。伝統こけしには現在十一の系統があり、弥治郎こけしは宮城県の弥治郎地区で誕生しました。頭のベレー帽のようなろくろ模様が特長で、少女の愛らしい表情が見る人の心を和ませます。
木地処さとう
〒970-8022 福島県いわき市平塩字徳房内 92-3 TEL 0246-22-0246

白河だるま

福島県 白河市
300年ほど前からつくられている白河だるまは、眉は鶴、ひげは亀、頬のびんひげは松と梅、あごひげは竹を表す、大変縁起のよいだるまです。願いを込めて向かって右側の目に目玉を入れると必ず成就するといわれています。
白河だるま総本舗
〒961-0907 福島県白河市横町 30 TEL 0248-23-3978

三春張子 福ねずみ

福島県 郡山市
三春で張子人形がつくられ始めたのは、一説によると三百数十年前。京都の伏見人形が三春地方に伝わり、高柴村の人々がそれを真似、副業として張り子人形をつくり始めました。今でも「高柴デコ屋敷」と呼ばれる集落で様々な郷土玩具がつくられています。このねずみの張子は干支人形として広く親しまれています。
有限会社彦治民芸
〒963-0902 福島県郡山市西田町高柴字舘野 80-1 TEL 024-972-2412

中湯川人形 来らんしょ子

福島県 会津若松市
会津若松市の山中でつくられる中湯川人形は、数多くの型があり、それぞれ個性的な表情を楽しむことができる土人形です。「こらんしょ」とは当地の言葉で「どうぞ、こちらにお出でください」という意味。三つ指をついて福を歓迎する、招福の干支人形です。
工房 千想
〒965-0815 福島県会津若松市東山町中湯川 256 TEL 0242-28-1640

赤べこ

福島県 会津若松市
会津地方では牛のことをベコと呼びます。1200年程前会津柳津・福満虚空蔵尊圓蔵寺の建立の際、最後まで働き通したのが赤色の牛と伝えられています。その赤色の牛にあやかり昔から子供の誕生には壮健を祈りまた疫病除としても贈られ、親しまれています。
有限会社民芸処番匠
〒965-0811 福島県会津若松市和田 1-6-3 TEL 0242-27-4358

高崎だるま

群馬県 高崎市
少林寺達磨寺で七草の縁日に売り出されたのが縁起だるまの始まりです。まゆは鶴、ひげは亀を表し、転んでも起き上がることから、七転び八起きの縁起物として大切にされてきました。片方の目に願を掛け目入れし、願いがかなうと残りの目を入れる風習は、養蚕農家から広まりました。
吉田だるま店株式会社
〒370-0868 群馬県高崎市鼻高町 43-7 TEL 027-327-4927

張子犬

埼玉県 越谷市
埼玉県は大都市江戸に近かったことから、玩具の一大生産地として栄え現在に至っています。中でも越谷市は郷土張り子の一大生産地として知られ、今でも職人が一つ一つ手書きで絵付けをしています。
鈴幸人形店
〒343-0025 埼玉県越谷市大沢 4-6-52 TEL 048-976-2266

芝原人形 鯛担ぎ恵比寿

千葉県 長生郡
めでたいに通じる鯛を担ぎ上げた恵比寿人形には、福寿・商売繁盛の願いが込められています。
芝原人形 草の子窯
〒297-0154 千葉県長生郡長南町岩撫 44-1 TEL 0475-46-0850

彩色起き上がり赤ふくろう

東京都 台東区
江戸時代の疫病が命に関わる病気として恐れられていた頃、親は子どもに赤色の服を着せたり、赤いおもちゃを持たせていたように、赤色は疫病除けの色と信じられていました。現代での赤い置き物は、より広い意味での無病息災の御利益が期待される縁起物として親しまれています。
江戸趣味小玩具仲見世 助六
〒111-0032 東京都台東区浅草 2-3-1 TEL 03-3844-0577

赤物人形 子

埼玉県 鴻巣市
鴻巣は、江戸時代より雛人形の町と云われ、関東でも屈指の桐の産地でした。赤物人形は、桐箪笥などの家具を作った後にでるおがくずと正麩糊を混ぜたものを型に入れて成形し、乾燥後に下地を塗り、彩色して出来上がります。昔から赤色は魔をよけるといわれ、無病息災・家内安全のお守りとして鴻巣の人形師によって作られてきました。
太刀屋
〒365-0037 埼玉県鴻巣市人形 3-1-51 TEL 048-541-0568

とやま土人形 うそ

富山県 富山市
とやま土人形は、江戸時代末期から発展し、縁起物や民間信仰の神像、子どもの玩具など、様々な土人形がつくられ親しまれてきました。天神信仰が根付いている富山県において、鷽（うそ）は天神様（菅原道真）の使いといわれ、天神様を飾る時に一緒に並べる縁起物となっています。
とやま土人形伝承会
〒930-0881 富山県富山市安養坊 1118-1 TEL 076-431-4464

五箇山和紙 紙塑民芸品 子

富山県 南砺市
世界遺産の合掌造り集落で有名な富山県五箇山では古くから手漉き和紙の生産が行われていました。和紙生産の際に出る原料の端材を再利用し、手づくりの紙粘土に加工します。紙粘土を型に押し込み、形づくって着彩したものが紙塑人形で、伝統的な獅子頭や干支の人形など愛らしい縁起物がつくられています。
農事組合法人五箇山和紙
〒939-1923 富山県南砺市下梨 148 TEL 0763-66-2016

米食いねずみ

石川県 金沢市
金沢に数多くある玩具は、江戸時代後期に加賀藩の下級武士の手内職として広まり、正月の市や祭礼の際に売られていました。米食いねずみは賞玩することにより、専らお金が増えるという俗信が伝えられています。
株式会社中島めんや
〒920-0902 石川県金沢市尾張町 2-3-12 TEL 076-232-1818

三河土人形 餅つきうさぎ

愛知県 碧南市
陶磁器の産地にほど近い愛知県三河地方では良質な土が採れることもあり、江戸時代から各地で冬の農閑期を利用して土人形が盛んにつくられてきました。土人形は「おぼこ」と呼ばれ、ひな祭りが近づくと行商の人が売り歩いたといわれています。素朴なかたちに施された色鮮やかな色彩が特徴です。
おぼこや
〒447-0816 愛知県碧南市志貴崎町 2-19 TEL 0566-42-2014

伊勢一刀彫 干支 子

三重県 伊勢市
宮大工が伊勢神宮の御用材を使ってエビス大黒などを彫り始めたのが一刀彫の起源といわれています。もともと伊勢には根付師が多く存在しており、彫りものの技術に優れていました。今はおもに楠材が用いられており、美しい木目をいかした素材が目を引きます。また、磨きや彩色をせず刀痕をそのまま残すため、素朴な中にも力強さと温かみを併せ持つのが大きな特徴です。
株式会社宮忠
〒516-0036 三重県伊勢市岡本 1-2-38 TEL 0596-28-0412

伏見人形 唐辛子ねずみ

京都府 京都市
千本鳥居で有名な京都伏見稲荷大社の門前には、古来より土師部が住み焼物をつくっていました。江戸時代に入ると参拝客の土産品として土人形が珍重されるようになり、その技法は全国に伝わっていきました。今では国内に90種類以上ある土人形の元祖であるといわれています。
有限会社丹嘉
〒605-0981 京都府京都市東山区本町 22-504 TEL 075-561-1627

素焼なごみ土鈴

京都府 京都市
素焼きなごみ人形は伝統的な技法を使いながら、ほっとする優しさをもった土鈴です。十二支の最初を飾る子（ねずみ）は、多産でまめな働き者として親しまれてきました。子孫繁栄を祝う縁起物です。
株式会社 MASOO.
〒615-0083 京都市右京区山之内瀬戸畑町 10-3 TEL 075-203-8454

京陶人形 小判ネズミ

京都府 京都市
京陶人形は京都で作られている陶彫人形で、顔料などで極彩色に仕上げたものから、土味を生かした淡彩色のもの、本焼・焼しめで仕上げたものなど色々な形で親しまれてきました。小判にのったねずみは、金運招来を意味して 運を引き寄せてくれます。
土田人形
〒615-0915 京都府京都市右京区梅津南町 1-10 TEL 075-871-6834

張子 八咫烏はりこ

奈良県 香芝市
この張り子は障害のある人の新しい仕事を生み出す拠点「Good Job! センター香芝」のオリジナルマスコットです。郷土玩具の新しい可能性として、3Dプリント技術と手仕事を組み合わせて制作しています。八咫烏は、神武天皇を大和の橿原まで案内したとされており、導きの神として信仰されています。
Good Job! センター香芝
〒639-0231 奈良県香芝市下田西 2-8-1 TEL 0745-44-8229

大和出雲人形 俵ねずみ

奈良県 桜井市
奈良県桜井市出雲でつくられる初瀬出雲人形の歴史は大変古く、約2000年前の土偶の生産が起源とされています。現在でも窯を使わず、籾殻を燃やして野焼きにより焼成されています。ねずみは多産のため子孫繁栄を、俵は五穀豊穣を、と俵ねずみは古来より縁起がよいと親しまれる組み合わせです。
初瀬出雲人形
〒633-0122 奈良県桜井市出雲町 1208 TEL0744-47-7255

大阪張子 虎張子

大阪府 柏原市
大阪張子は子どもの成長を祈る玩具として室町時代から親しまれてきました。日本で初めて毘沙門天が現れたとされる信貴山（しぎさん）の 朝護孫子寺（ちょうごそんしじ）では、張子の虎がお守りとして授与され、大阪張子を原型とした「世界一福寅」も親しまれています。大阪では5月5日の端午の節句に、兜とともに張子の虎を飾って男の子の成長を祝います。
大阪張り子工房 峯商店
〒582-0007 大阪府柏原市上市 1-4-12 TEL 072-973-0423

木彫り 福子

岡山県 英田郡
岡山県のヒノキで、ひとつずつ作られた干支の福車です。森を受け継ぎ、育ててきた土地ならではのヒノキは、美しい木目と香りを楽しめます。「ふえる」象徴である子が走ると、まわりに福がどんどん増えるという想いが込められた、縁起の良い干支の車です。
株式会社ようび
〒707-0502 岡山県英田郡西粟倉村坂根 43 TEL 0868-75-3223

玉島だるま

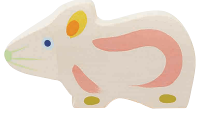
岡山県 倉敷市
西日本では数少ないだるまの産地である玉島地区の玉島だるまは、戦後から生産が始まりました。起き上がりこぼしのような郷土玩具として幅広い世代に親しまれ、子どもの健やかな成長を願ったり、合格を祈願したりする願掛けだるまとして広く利用されています。
玉島だるま虎製造所
〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島 915-7 TEL 086-522-3753

宮島張子 起き上り鳥 フクロウ

広島県 廿日市市
宮島の転んでも幸福を取り寄せてくれるフクロウの縁起物です。宮島張子は1975年頃から作られるようになり、独創的で鮮やかな色使いと模様が特徴です。
宮島民芸工房
〒739-0517 広島県廿日市市宮島町 663 TEL 0829-44-2090

岩井温泉の十二支 子

鳥取県 岩美郡
1300年の歴史がある山陰最古の「岩井温泉」。江戸時代より木地師がろくろ挽きの食器などをつくってきましたが、温泉地のお土産ものとして、愛らしい干支の人形が親しまれるようになりました。素朴でユーモラスな表情をしています。
おぐら屋
〒681-0024 鳥取県岩美郡岩美町岩井 319 TEL 0857-72-0520



鳥取のえと 子

鳥取県 鳥取市
鳥取のえとは針葉樹でつくられる木彫りの干支人形です。古くから民藝や手工芸がさかんな土地柄もあり、戦後から伝統的な流し雛づくりの傍らでつくられてきました。モダンな色使いや愛らしい表情が特徴のねずみです。
信夫工芸店
〒680-0015 鳥取県鳥取市上町 116 TEL 0857-23-0506

長州土鈴 幸ふく

山口県 美祢市
河豚（ふぐ）は下関では「ふく」と呼ばれ、幸福の福を重ねて縁起をかつぎ、福をもたらす魚として昔から愛着を持たれてきました。ふっくらとしたかたちとどこかおどけた表情は見る人を幸福な気持ちにしてくれます。
有限会社 民芸くらもと
〒754-0511 山口県美祢市秋芳町秋吉 614 TEL 0837-62-0208

高松張子 福ねずみ

香川県 高松市
高松市内には江戸時代から玩具や人形をつくる店が多くあり、張子の人形は子どもの遊び道具や、子どもの病気の身代わりや魔除けとして用いられてきました。福が詰まった袋を抱えている干支の張子です。
張子工房ウスイ
〒761-8012 香川県高松市香西本町 33-7 TEL 087-882-6367

土佐木彫 鰹車

高知県 高知市
100年程前の捕鯨漁が盛んだった頃、土佐の漁師は長旅のなかでヒマを見つけては、様々な魚玩具を作って家族に持ち帰っていました。土産らしいものは何一つない土地だったため広まった文化でしたが、離れた故郷の妻や我が子を想って作り出された手作りの手土産には、豪気な海の男の中に隠れる家族への愛情が込められています。
とさ民芸店・ちゃまみギャラリー
〒780-0833 高知県高知市南はりまや町 1-15-7 TEL 088-882-0171

土佐和紙漆喰人形 ふくら雀

高知県 吾川郡
土佐では昔からとても身近な存在であった土佐和紙と漆喰を使い、裏彩色という技法で着色された人形です。羽に「松」、尾に「竹」、胸に「梅」、そして背にお日様と稲穂を背負ったふくら雀です。稲穂を腹いっぱい食べてぷっくり膨らんだ雀は、豊かな実りの象徴として親しまれてきました。
草流舎
〒781-2110 高知県吾川郡いの町 3811 TEL 088-892-1045

筑前津屋崎人形 裃子

福岡県 福津市
和服における正装の一種である裃を着た干支の子です。毎年の干支に裃を着せた津屋崎人形は、地元でも多くの人に親しまれてきました。
筑前津屋崎人形巧房
〒811-3304 福岡県福津市津屋崎 3-14-3 TEL 0940-52-0419

ぶらぶら達磨

福岡県 福岡市
伝統的な技法を用いながらも、現代的な要素も含んだダルマの制作を行うヤチコダルマ。かわいらしい表情に手足の生えただるまは、吊り下げることで手足がぶらぶらと揺れ動きます。
ヤチコダルマ 吉田 弥稚子
MAIL : yachikodaruma@gmail.com

のごみ人形 ねずみ鈴

佐賀県 鹿島市
日本三大稲荷のひとつ、祐徳稲荷神社の参道で売られるのごみ人形は、第二次世界大戦後の世の中を明るくしたいという想いから始まりました。大黒様の神使いでもある白のねずみには、豊穣や家運隆盛の意味が込められています。
のごみ人形工房
〒849-1314 佐賀県鹿島市大字山浦甲 1524 TEL 0954-63-4085

ムツゴロウ

佐賀県 神埼市
尾崎人形は13世紀末の元寇の役よりこの地に住み始めた大陸の捕虜が、故郷を偲びつくりはじめたと言い伝えられてきました。この土笛のモデルとなるムツゴロウは有明海のシンボル的な存在で、日本では有明海と八代海の一部の干潟にしかいない愛らしい魚です。
尾崎人形 高柳 政廣
〒842-0015 佐賀県神埼市神埼町尾崎 546 TEL 0952-53-0091

下浦土玩具 ひっぱりだこ

熊本県 天草市
「ひっぱりだこ」は天草の名産であるマダコがモチーフになっており、良い引き合いがたくさん来るようにとの想いを込められてつくられた縁起物です。300年以上の伝統がある「天草土人形」を大切に守りたいと、地域の有志とデザイナーとで作られています。
しもうら弁天会
〒861-6551 熊本県天草市下浦町 2127-2 TEL 090-9587-7589

木の葉猿 開運招福持猿

熊本県 玉名郡
1301年前、木葉山の赤土で祭器をつくり、残りの土を捨てたら猿に化したという伝説から生まれたと伝えられる木葉猿。魔除け、災難除け、安産、子宝、子孫繁栄の守り神として古くから親しまれています。型を使わず指先だけで粘土をひねってつくられ、茶色い肌は素焼きそのままの素朴な風合いとなっています。
木の葉猿窯元
〒869-0303 熊本県玉名郡玉東町木葉 60 TEL 0968-85-2052

佐土原人形 大黒鼠

宮崎県 宮崎市
佐土原人形は400年ほど前、朝鮮から来ていた陶工に習ってつくられたのが始まりと言われています。明治時代初期から大正時代に盛んにつくられるようになり、多くの人に親しまれてきました。江戸時代から続く人形店は１軒となりましたが、今でも昔から残る型を元につくられています。土でできる素朴さとかたち、温かい色調が特徴です。
佐土原人形店 ますや 下西 美和
〒880-0301 宮崎県宮崎市佐土原町上田島 1396-10 TEL 070-4226-3641

帖佐人形 戎鯛乗り

鹿児島県 姶良市
帖佐人形の歴史は古く、1597年慶長の役の朝鮮出兵の帰途、島津義弘と共に渡来した陶工達が、帖佐村に窯を築き帖佐焼を始めると共に、人形の製作も始め地元民に継承したのが創始とされています。目に鮮やかな色彩は、いかにも縁起がよく、桃の節句や端午の節句など節目の日に縁起物として贈られる風習があります。
帖佐人形窯元
〒899-5431 鹿児島県姶良市西餅田 1372 TEL 099-227-7514

MUJI 無印良品